

建交労大阪府本部

機関紙



発行元 府本部

電話 06-4800-7115

第28回大阪府本部委員会開催

建交労大阪府本部は、2月11日(日)午後13時から国労大阪会館3階中会議室において、第28回大阪府本部委員会を開催しました。委員会開会のあいさつには、阪口副委員長。委員会の諸役員は、議長に大阪合同支部・伊藤さん、神田支部・小城さん、議事運営及び資格審査には、執行部から北山執行委員、関西合同支部・太田さん、関西ダンプ支部・鳥川さん、関西支部・東さんが選出され議事が進行しました。冒頭に執行部を代表して前村執行委員長があいさつが苦しい状況であるにも



かかわらず、大軍拡・大増税を行う一方で、大企業には優遇税制をする政治になっている。」「今年の24春闘は、30年間上がってこない実質賃金を大幅に引き上げる賃上げを勝ち取らなければならない。まさに、労働組合としての真価が問われる重要な春闘



になる。職場討議を重ね、ストライキを背景に旺盛に取り組もう！」と力強いあいさつでした。その後、荻田書記長から「一般経過報告・春闘方針案・大阪府本部統一要求案」が提案され、続いて、2号議案「会計中間決算報告」、3号議案「1「第26回定期大会代議員選出基準」第3号議案



2「選挙管理委員選出」第4号議案「次期役員の数」のすべての議案が提案されました。休憩後は、一般討論を行い、4名の委員から発言がありました。関西支部・紀平委員は、「生コンの現状報告、春闘にむけての意気込み」などの発言。関西ダンプ支部・小園委員は「三和サービスク分會が個人事業主でありながら、ストライキを決行して月額賃金2万円の相当する賃上げを勝ち取った。」報告。関西号支部・長谷川委員からは、

「太田貨物班の偽装請負の争議支援、最高裁上告受理の署名のお願い」の訴え。関西支部・東委員からは「トラック部会の活動報告、2024年問題」などの発言がありました。いずれも24春闘における意気込みや物価高騰を上回る賃上げ要求など前向きな発言ばかりでした。そして、荻田書記長から討論のまとめとして、「24春闘は、労働組合の真価が問われる重要なたたかいです。各支部の春闘準備や構えと職場での徹底した議論にもとづき旺盛にたたかきましょう。」と討論のまとめ、各議案の採決を行いました。すべての議案は、満場一致で採択され、閉会挨拶には本多副委員長があいさつ。最後に団結がんばろうで委員が閉会しました。参加者は、役員11名と委員25名、全体で36名が参加しました。

第2回大阪府本部一般組合員学習会開催

大阪府本部は、3月2日（土）13時から中央本部・角田季代子執行委員長をお招きして、第2回大阪府本部一般組合員学習会を行いました。テーマは「ジェンダー平等って何？」について約1時間の学習をしました。

荻田書記長の司会進行で学習会をはじめ、角田委員長は冒頭に、「ジェンダー平等は、平和・民主主義の花開く時代をつくるために」と述べ、「アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）です。タイプ別は5つのタイプに分かれ、①ステレオタイプ（人の属性をもとに先入観や固定概念で決めつけてしまう。②正常性バイアス（問題があっても、『私は大丈夫』）と思いついてしまう。③確証バ

イアス（自分の考えや経験則を正当化する情報ばかりを探してしまう。④権威バイアス（権威のある人の言うことは、間違いないと思いついてしまう。⑤集団同調性バイアス（周り

と同じように行動しようとする。）」と説明し、ジェンダーギャップ指数2023年の表で、北欧が上位を占めている一方で、日本は125位と非常に低い順位になっている。さらに、ジェンダー意識には、直接差別と間接差別の例を挙げて詳し



中央本部・角田季代子執行委員長



く説明していただきました。

学習会時間約1時間

後は、休憩を挟んで質疑・応答を行い、関西支

部・藤川書記長は、「女性の

30歳定年が当たり前の

時代があったことに驚

いています。」と感想を述

べていました。角田委員

長は感想に対し、「アナウ

ンサーなどは、寿退社や

30歳で退職することが

社内の風潮になってい

た。1980年時代は、

女性であってもしっかり

働きたいという女性部活

動の時代であった。」と説

明。大阪府本部・前村委員

長は、「私の時代は、鹿児島生まれで、男性が台所に立つことが許されない、お風呂は男性が先に入るのが当然であった。今の時代では考えられないことが、当時は当たり前のようになっていた。この学習会を期に大阪でもジェンダー平等を推進したい。」と感想を述べていました。

大阪府本部の執行部は全員が男性であることに

くわえて、建交労大阪府本

部全体の組合員でも女性

組合員は1割にも満たない

人数しか居なかったこと

とから、問題意識が薄かつ

たと改めて考えさせる有意

義な学習会でした。

学習会の参加者は、関西

支部11名、大阪合同支部

4名、此花支部4名、神田

支部2名、大阪鉄道本部2

名、関西合同支部2名、関

西ダンプ支部2名が参加

しました。

3・10 建交労大阪トラックパレード

建交労大阪府本部と大

阪トラック部会の共催で

3月10日(日) 24春闘勝

利をめざし、「2024年

問題による労働条件の改

悪の改悪を許さず、大幅

賃上げを勝ち取ろう！」

「万博・カジノ建設中

止！消費税減税！インボ

イス制度の廃止！」スロ

ーガンに夢洲コンテナヤ

ードにおいて決起集会を

行いました。集会後は大

阪府民・市民にアピール

しながら、「3・10建交

労大阪・トラック・ダン

プパレード」を実施しま

した。

決起集会じゃ、荻田書

記長の司会進行で午前8

時30分から開始し、次の

公務の関係上、順番を変

更して来賓挨拶となりま

した。最初は、日本共産

党・たつみコータロー前

参議院議員から国会情勢
の報告として「自民党議
員の裏金問題」を厳しく
糾弾したうえで、国民に

対して説明責任を果たす
べきであると指摘。また、
国民の暮らしが苦しくな
る中、暮らしを守るには
「消費税減税」が必要で
ある。そして、中小企業
の経営が厳しい状況にあ



大阪此花区・夢洲コンテナヤード決起集会

る中、インボイス制度を
廃止しなければならぬ
と述べ、今の政治を変え
るには、来る衆議院選挙
で労働者本位の政治への
転換が必要だと訴えまし
た。その後、前村執行
委員長のあいさつがあ
り、前村委員長は、「30年
間実質賃金が上がってい
ない中、どのように賃上
げしていくのか労働組合
の真価が問われる重要な
春闘になる。24春闘は物
価高騰を上回る賃上げを
勝ち取るために奮闘しよ



う！」と呼びかけました。
続いて、大阪労連・菅議
長、大阪建設共闘・矢野
事務局長から来賓あいさ
つを受けました。その後
は、大阪トラック部会・
東事務局長からパレード
に関する注意事項の説明
があり、最後に大阪トラ
ック部会・橋本部会長の
団結がんばろう！で決起
集会を締めくくりまし
た。決起集会への参加者
は全体で118名、関西
支部78名、関西ダンプ支
部13名、関西合同支部10



